

87	

87

さくぶんの
かきかたを
じよげんして
もらう。

88	

88

いわが
らっか。
おちた
ところに
穴があく。

89	

89

にぎやかに
すすむ
おんがく隊の
こうしん。

90	

90

とうばんの
やくめは
きちんと
果たす。

91	

91

きょうの
勝負は
まけた。

91	90	89	88	87
負	役	進	落	助
今日の勝負は負けた。	当番の役目はきちんと果たす。	にぎやかに進む音楽隊の行進。	岩が落下。落ちたところに穴が開く。	作文の書き方を助言してもらおう。

92

9 2

このしょうぶ^ぶどっちがかつのか まけるのか。

93

9 3

勉強^{べん}ようにくぎりをつけてあそぶ。

94

9 4

さんちようめ じゅうはちばんち。

95

9 5

おくじょうからむこうのいえのやねがみえる。

96

9 6

おおきくてふといね だからだいこんだ。

96	95	94	93	92
根	屋	丁	区	勝
大きくて太い根だから大根だ。	屋上から向こうの家の屋根が見える。	三丁目十八番地。	勉強に区切りをつけて遊ぶ。	この勝負、どっちが勝つのか負けるのか。

97

97

あいてに たまを なげかえす。

98

98

ちきゅう儀^ぎで にほんを みつける。

99

99

だ者^{しや}が ヒットを うって 試^しあいにかつた。

100

100

わらべうたを みんなで うたった 児^こどうしゆうかい。

101

101

しよくじのとき、おもに たべる ものが しゆしよくだ。

101	100	99	98	97
主	童	打	球	投
食事の時、主に食べるものが主食だ。	童歌をみんなで歌った児童集会。	打者がヒットを打って試合に勝った。	地球儀で日本を見つける。	相手に球を投げ返す。

たしかめ

21

名 前

102

にんげんはサルからしんかした。

103

てつどうのせん路はてつでできている。

104

しんじつとおもっていたら まっかな嘘。

105

らいきやくをきやくまにおとおしする。

106

としよかんは静かでおちつく。

106	105	104	103	102
着	客	真	鉄	化
図書館は静 <small>しず</small> かで落ち着く。	来客を客間にお通しする。	真実と思っていたら真 <small>うそ</small> つ赤な嘘。	鉄道の線路は鉄でできている。	人間はサルから進化した。

107	

でんきをおくる
そうでんせん。

108	

けがをして
病^{ひょう}いんに
にゆういんした。

109	

けがの
コート
をきた
おんなの
ひと。

110	

とうばんの
しごとを
ひきうける。

111	

ひを
けす
くるまが
しょう防^{ぼう}しゃ。

111	110	109	108	107
消	受	皮	院	送
火を消す車が消防車 ^{ぼうぼう} 。	当番の仕事を引き受ける。	毛皮のコートを着た女の人。	けがをして病院に入院した。	電気を送る送電線。

1 2	

112 や菜^{さい}を いちば^{いちば}に しゅっ^{しゅつ}かする。

1 3	

113 にもつ^{にもつ}を はこぶ^{はこぶ} くるまの うん^{てん}転^{てん}しゅ。

1 4	

114 ちきゅう^{ちきゅう}は たいよう^{たいよう}の まわり^{まわり}を まわ^{まわ}っている。

1 5	

115 つうがく^{つうがく}ろを とお^{とお}つて とうこう^{とうこう}する。

1 6	

116 いま^{いま}と むかし^{むかし}の せい^{せい}かつ^{かつ}を 比べ^{くらべ}る。

116	115	114	113	112
昔	路	陽	運	荷
今と昔の生活を比べる。	通学路を通って登校する。	地球は太陽の回りを回っている。	荷物を運ぶ車の運転手。	野菜を市場に出荷する。

1 1 7	

よそいきの ふくに き替えて できる。

1 1 8	

118 どうろの りよう側に ほどうがある。

1 1 9	

119 ころんでも、みが かるいから けい傷だ。

1 2 0	

120 あすは えんそく、あまぐの よういも する。

1 2 1	

121 おん泉に はいって からだを あたためる。

1 2 1	1 2 0	1 1 9	1 1 8	1 1 7
温	具	軽	両	服
温泉 <small>せん</small> に入 <small>い</small> って体 <small>てい</small> を温 <small>ぬ</small> める。	明日 <small>あした</small> は遠足 <small>えんそく</small> 、雨具 <small>あまぐ</small> の用意 <small>ようい</small> もする。	転 <small>ころ</small> んでも、身 <small>み</small> が軽 <small>かろ</small> いから軽傷 <small>けいしょう</small> だ。	道路 <small>だうろ</small> の両側 <small>りょうがわ</small> に歩道 <small>ほどう</small> がある。	よそ行 <small>よそぎ</small> きの服 <small>ふく</small> に着替 <small>か</small> えて出 <small>で</small> かける。

126

1 2 6

し^き揮をするひとのゆびさをよくみてうたう。

125

1 2 5

せ^{つくえ}いりして、机のうえがととのった。

124

1 2 4

き^{おこ}がみじかくすぐ怒りだすたんきなひと。

123

1 2 3

うつくしいこえをびせいという。

122

1 2 2

おんどけいは、おんどをしらべるどうぐです。

たしかめ

25

名 前

1 2 6	1 2 5	1 2 4	1 2 3	1 2 2
指	整	短	美	度
指揮 <small>き</small> をする人の指先をよく見て歌う。	整理して、机 <small>つくえ</small> の上が整った。	気が短くすぐ怒り出す短気 <small>おこ</small> な人。	美しい声を美声という。	温度計は、温度を調べる道具です。

131

ふかい
うみの底そこにいる
しんかいぎよ。

1 3 1

130

ぶんを
かいた
ひとを
ひっしゃという。

1 3 0

129

だいがくで
かくもんを
きわめる。

1 2 9

128

昆こんちゅうけんきゅうしゃの
ファールブル。

1 2 8

127

しよくりんは、やまに
きを
うえること。

1 2 7

たしかめ

26

名 前

131	130	129	128	127
深	者	究	研	植
深い海の底 <small>そこ</small> にいる深海魚。	文を書いた人を筆者という。	大学で学問を究める。	昆虫 <small>こん</small> 研究者のファールブル。	植林は、山に木を植えること。

たしかめ

27

名前

[illegible]

しなものをかうかわりに払うおかねがだいきん。

[illegible]

じょうしや券いんを
か
つ
て
で
ん
し
や
に
の
つ
た。
133

[illegible]

あつ
い
とき
には
むぎ
ちや
を
の
もう。

[illegible]

たいふうで　りゅうぶくが　ながれついた。

[illegible]

すみびで 焼きにく、たん酸ジュースものむ。

1 3 6	1 3 5	1 3 4	1 3 3	1 3 2
炭	流	飲	乗	代
炭火で焼き肉、炭酸ジュースも飲む。	台風で流木が流れ着いた。	暑い時には麦茶を飲もう。	乗車券を買って電車に乗った。	品物を買う代わりに払うお金が代金。

141

お
お
む
か
し
の
か
み
さ
ま
の
は
な
し
を
し
ん
わ
と
い
う
。

1 4 1

140

は
な
み
ず
が
と
ま
ら
ず
、
じ
び
か
へ
い
っ
た
。

1 4 0

139

ぎ
ん
こ
う
に
お
か
ね
を
預
け
る
。

1 3 9

138

に
ほ
ん
じ
ん
は
、
わ
ふ
く
も
洋
ふ
く
も
き
る
。

1 3 8

137

た
い
ら
な
か
み
に
へ
い
こ
う
せ
ん
を
か
く
。

1 3 7

た
し
か
め

28

名 前

141	140	139	138	137
神	鼻	銀	和	平
大昔の神様の話を神話という。	鼻水が止まらず、耳鼻科へ行つた。	銀行にお金を預 ^{あず} ける。	日本人は、和服も洋服も着る。	平らな紙に平行線を書く。

1 4 2	

142

おまつりのよる、はなびが あがる。

1 4 3	

143

永久えいきゅうしが むしばになり、はいしゃにいく。

1 4 4	

144

いがくの しんぽで 良よいくすりが できた。

1 4 5	

145

きゆうな さかみちを のぼっていく。

1 4 6	

146

やつきよくで 風邪かぜの くすりを かった。

1 4 6	1 4 5	1 4 4	1 4 3	1 4 2
薬	坂	医	歯	祭
薬局で風邪 <small>かぜ</small> の薬を買った。	急な坂道を上っていく。	医学の進歩で良い薬 <small>よ</small> ができた。	永久 <small>えいきゅう</small> 歯が虫歯になり、歯医者に行く。	お祭りの夜、花火が上がる。

たしかめ

30

名前

147

ダンボールばこにもつを詰める。

148

ゆをわかしておちやをいれる。

149

ほかのまちに
いけば、し
らないたに
んばかり。

150

いけんがたいりつしてもたいわで解かいけつ。

151

たいへいようを ヨットで おう断だんした。

151	150	149	148	147
洋	対	他	湯	箱
太平洋をヨットで横断 <small>だん</small> した。	意見が対立しても対話で解決 <small>かい</small> 。	他の町に行けば、知らない他人ばかり。	湯をわかしてお茶を入れる。	ダンボール箱に荷物を詰める。

たしかめ

31

名 前

1 5 2

152

にほんでいちばんおおきいみずうみは琵琶こ。

1 5 3

153

にほんしゅは、こめから造るおさけです。

1 5 4

154

ガソリンはせきゆからつくったあぶらです。

1 5 5

155

おとしものをひろってこうばんへ届けた。

1 5 6

156

ひつじがくさをたべている。

1 5 6	1 5 5	1 5 4	1 5 3	1 5 2
羊	拾	油	酒	湖
羊が草を食べている。	落とし物を拾って交番へ届けた。	ガソリンは石油から作った油です。	日本酒は、米から造るお酒です。	日本で一番大きい湖は琵琶湖。

161

1 6 1

あ
た
ら
し
い
べ
ん
き
よ
う
机つくえ
を
か
っ
て
も
ら
っ
た。

160

1 6 0

に
が
っ
き
は
い
ち
ば
ん
な
が
い
が
っ
き
で
す。

159

1 5 9

せ
か
い
ち
ず
で
ち
ゅう
ごく
を
探さがす。

158

1 5 8

こ
う
べ
こ
う
は
、
が
い
こ
く
せ
ん
が
つ
く
み
な
と
だ。

157

1 5 7

と
う
き
よ
う
え
き
か
ら
し
ん
幹かんせ
ん
に
の
る。

た
し
か
め

32

名 前

161	160	159	158	157
勉	期	界	港	駅
新しい勉強机 <small>つくえ</small> を買 <small>か</small> っ <small>て</small> もら <small>い</small> た。	二学期は一番長い学期です。	世界地図で中国 <small>さか</small> を探 <small>さが</small> す。	神戸港は、外国船 <small>ふくごくせん</small> が着 <small>き</small> く港だ。	東京駅 <small>とうきょうえき</small> から新幹線 <small>かんせん</small> に乗 <small>の</small> る。

1 6 2

162

よねんせいにしんきゅうする。

1 6 3

163

しきじょうの飾かざりをつくってにゅうかくしき。

1 6 4

164

ぎょうれつができる、にんきのラーメンてん。

1 6 5

165

よそうがいのおおゆきになった。

1 6 6

166

ばけものではなしが怪かいだん。

1 6 6	1 6 5	1 6 4	1 6 3	1 6 2
談	予	列	式	級
化け物の出る話が怪談 ^{かい} 。	予想外の大雪になった。	行列ができる、人気のラーメン店。	式場の飾り ^{かざ} を作って入学式。	四年生に進級する。

たしかめ

34

名前

[illegible]

167

はんたいばかりしていたことをはん省せいする。

	1	6	8
a			
b			
c			
d			
e			
f			
g			
h			
i			
j			
k			
l			
m			
n			
o			
p			
q			
r			
s			
t			
u			
v			
w			
x			
y			
z			

168

熱とうを そそぐ ときには、やけどに ちゅうい。

[illegible]

169

まっくらやみ闇の あんや
です。

169	168	167
暗	注	反
真 <small>ま</small> つ暗 <small>やみ</small> 闇 <small>やみ</small> の暗 <small>やみ</small> 夜 <small>よ</small> です。	熱 <small>ね</small> 湯 <small>つ</small> を注 <small>つ</small> ぐ時 <small>とき</small> には、やけどに注 <small>つ</small> 意 <small>い</small> 。	反 <small>はん</small> 対 <small>たい</small> ばかりして <small>して</small> いたことを反 <small>はん</small> 省 <small>せい</small> する。